

「ひだまり教室について」

特別支援教室専門員

ひだまり教室では、個別指導の時間と小集団指導の時間があります。今年は小集団指導で何を目指し、どのようなことをしているのか御紹介します。小集団指導では、自分自身を大切にしながら、他者と折り合いをつけられるようになることを目指して授業をしています。具体的には、まず協力が必要な活動をしします。例えば、ヘリウムリングという活動があります。フラフープを全員片手の人差し指を出して支えます。頭より上のフラフープを床まで降ろせば成功です。しかし、フラフープから指が離れてはいけません。離れては大変と誰かが指を上挙げてしまうと、知らず知らずのうちにフラフープは上がって行ってしまいます。みなさんは、どうしたら成功すると思いますか？また、活動をやって終わりではありません。活動中にどのようなことを考え、感じていたのかを互いに共有する時間をとり、振り返りをします。そこから、お互いを大切にするには何が大切か、次回からどうすればいいのかを深めていきます。必要に応じて Win-Win という考え方や、傾聴などについても教えていきます。成長した彼らが教室でその力を発揮し、ひだまり教室を卒業していくことがとても嬉しい瞬間です。

「学力向上部より」

学力向上部

本校では、学力向上の取組みを様々行っております。例えば、「毎日1回は机に向かう」、という基本的な生活習慣を身に付け、学校での自分の課題を見付け、克服できるように、家庭学習でがんばりカードを使用しています。また、朝のイトウタイムでは、国語や算数などの基礎・基本的な学力の定着が図れるようにしています。日々の学校生活の中では、算数習熟度別指導を行い、一人一人の個性や能力に合った学習展開ができるようにしています。しかしながら、現在の新型コロナウイルス感染症拡大防止により、児童により良い環境での学習ができていないことも考えられます。そこで、一人一台配布されているタブレットの効果的な活用が学力向上の手助けとなると考えています。授業内で活用することで、活用スキルが向上するとともに、「授業が分かりやすく楽しく学習ができる」という児童の学習への意識の向上も見られています。さらに、家庭で「eライブラリ」等を使って、各教科の復習・予習を行うことができ、その定着状況などを学校で把握し個別の指導に役立てることができることも魅力だと考えています。このようにして、学校と家庭それぞれの時間を有効に活用し、児童の学力向上を目指し、今後も指導を続けてまいります。引き続き御協力お願いいたします。

生活指導部より

生活指導主任

生活指導月目標（9月） 「規則正しい生活をしましょう」

まだまだ暑い日は続きますが、学校には子どもたちの元気な顔が戻ってきました。2学期に予定されている行事に向けて、「やる気・元気・本気」で取り組むためには、夏休みモードから普段の生活モードに早く戻さなくてはなりません。まずは、「早寝・早起き・朝ごはん」の定着から始めましょう。できるだけ早く、規則正しい生活リズムを取り戻して、よいスタートが切れるよう、保護者の皆様も御協力をお願いいたします。

また、9月は児童生徒の心が不安定になる月でもあります。不安や悩みを気軽に相談できる「24時間子ども SOS ダイアル」もありますので、御活用ください。(TEL: 0120-0-78310)

1学期の図工の様子（3～6年生）

3年生

○絵の具で色々な色をつくることを楽しみました。



○初めてののこぎり・かなづち。楽しみながらトントンさんをつくることができました。



4年生



○学校にいるステキなもりあげマスコットを考えて発表しました。

○まぼろしの花を種から想像して描きました。



○固まった布の形から発想して楽しくつくりました。



5年生



○電動いとのこぎりをつかってパズルをつくりました。つくった後はみんなで楽しく遊びました。



○名前をデザインして点で描きました。



6年生

○グループでお話をつくり発表しました。



○色画用紙をカッターで切り形や色の重なりによさを感じながらつくりました。



○英語の時間にリリー先生と一緒に英語で発表を行いました。